

タイトル「**2021年度スポーツ科学部(公開用_コロナ対策版)**」、フォルダ「**スポーツ科学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	SSCS4606		
科目名	ゼミナールⅡ		
担当教員	森丘 保典		
対象学年	3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	火 4		
講義室	1207	単位区分	必
授業形態	演習	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門統合		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	■ D P コード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 D P 3 - G（状況把握力・判断力）自らの置かれた状況、及び自己が帰属する集団の内外の状況を的確に把握し、適切に対応することができる。 D P 4 - F（探究力・課題解決力）問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 D P 4 - I（理解力・分析力）文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 D P 5 - J（創造的挑戦力・達成力）コンピテンスの開発を生涯にわたり継続して行うことを、自らの思考及び行動のパターンとするとともに、既存のアイデアを革新的かつ創造的に統合し、リスクをとりながら、結果に結び付けることができる。 D P 8 - M（省察力）知識と経験とを関連付け学修成果を活用可能な状態に高めるとともに、これを新しく複雑な状況に転移させ課題解決につなげることができる。 ■ C R コード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 F 1 探求と論拠（20%） G 1 状況把握（40%） I 2 量的分析（10%） I 3 情報分析（10%） J 2 創造的思考（10%） M 1 統合的・応用的学修（10%）		
教員の実務経験			
成績ターゲット区分	■ 成績ターゲット 能力開発の目標ステージとの対応 3 発展期～4 定着期		
科目概要・キーワード	ゼミナールⅠに続き、グループでの作業をすすめ、最終的には研究発表会を開催します。研究発表会に向けて、研究のプレゼンテーション方法を実践を通して学んでいきます。また、卒業研究や卒業論文として各自が取り上げたい課題を選択していく準備を行い、論文の書き方についても理解を深めていきます。授業形態は演習形式により行います。なお、授業を補完・代替するためオンライン授業（オンデマンド型・ライブ配信型）を取り入れます。 ■ キーワード 研究・省察・コーチング・マネジメント		
授業の趣旨	■ 副題 コーチングやチームマネジメントに関する自身の研究計画を立案し、その計画を実行していくプロセスを通して、研究についての理解を深めましょう。 ■ 授業の目的 ゼミナールⅠで立案した研究計画の再検討を行うとともに、計画を実行した結果に関する他者との議論内容を踏まえて発表できるようにすることを目的とします。 ■ 授業のポイント 研究計画の実行に伴い、実際のコーチングやチームマネジメントに関する量的・質的な研究手法の汎用性や限界について実践を通して学びます。		
総合到達目標	■ スポーツ科学研究のエビデンスを活用しながら諸方策を導き出していく反省的実践家としての能力を涵養するために、ゼミナールⅠで立案した研究計画を予備的に実行し、得られた結果を考察し発表できる能力を修得する。 ・コーチングやチームマネジメントに関する量的・質的な研究手法の汎用性や限界について説明できる。（第2～3回） ・自身が立案した研究計画を予備的に実行し、研究結果（データ）としてまとめることができる。（第4～7回） ・自身の研究実践について発表し、他者との議論を踏まえて結果の提示方法や解釈を修正することができる。（第8～15回）		
成績評価方法	■ リアクションペーパー（50%）：適用ルーブリック G 1・I 2・I 3・J 2 （評価の観点）他者の発表や研究手法の情報に関する内容などについてのリアクションおよび研究計画書の内容について評価します。 （フィードバックの方法）リアクションペーパー提出後に授業内容の振り返りを行います。 ■ プレゼンテーション（50%）：適用ルーブリック F 1・J 2・M 1 （評価の観点）自身もしくはグループの研究実践を発表し、その内容について評価を行います。 （フィードバックの方法）各発表後に講評を行います。		
履修条件	ゼミナールⅠ（SSCS4605）を履修していること		

履修上の注意点	特にありません。	
授業内容	回	内容
	1	①授業テーマ オリエンテーション ②授業概要 本ゼミナールの概要、授業の進め方と評価および学修を行うにあたって留意すべき点などについて概説し、受講生が授業の準備を具体的に行えるようになる（G1、I2、I3）。 ③予習（120分） シラバスの内容を一読し、授業内容の全体像を把握する。 ④復習（120分） 授業の全体像や評価、自分の学修計画などについて確認する。
	2	①授業テーマ 研究計画の再検討① ②授業概要 ゼミナール I で作成した研究計画について再吟味し、問題・課題の抽出と必要な修正等について整理する（G1、I2、I3）。 ③予習（120分） ゼミナール I で作成した研究計画を遂行するために、問題・課題の抽出と必要な修正等について確認する。 ④復習（120分） 授業で整理した内容を再確認し、研究計画を実行に移すために必要な修正および準備作業を行う。
	3	①授業テーマ 研究計画の再検討② ②授業概要 ゼミナール I で作成した研究計画について再吟味し、問題・課題の抽出と必要な修正等について整理する（G1、I2、I3）。 ③予習（120分） ゼミナール I で作成した研究計画を遂行するために、問題・課題の抽出と必要な修正等について確認する。 ④復習（120分） 授業で整理した内容を再確認し、研究計画を実行に移すために必要な修正および準備作業を行う。
	4	①授業テーマ 研究の実践① ②授業概要 自身もしくはグループでの研究計画を実践する。ここでは調査、実験等様々な方法が想定される（G1、J2）。 ③予習（120分） 研究計画を実行するための準備を行っておく。 ④復習（120分） 研究実行していく中での課題や修正点を整理しておく。
	5	①授業テーマ 研究の実践② ②授業概要 自身もしくはグループでの研究計画を実践する。ここでは調査、実験等様々な方法が想定される（G1、J2）。 ③予習（120分） 研究計画を実行するための準備を行っておく。 ④復習（120分） 研究実行していく中での課題や修正点を整理しておく。
	6	①授業テーマ 研究の実践③ ②授業概要 自身もしくはグループでの研究計画を実践する。ここでは調査、実験等様々な方法が想定される（G1、J2）。 ③予習（120分） 研究計画を実行するための準備を行っておく。 ④復習（120分） 研究実行していく中での課題や修正点を整理しておく。
	7	①授業テーマ 研究の実践④ ②授業概要 自身もしくはグループでの研究計画を実践する。ここでは調査、実験等様々な方法が想定される（G1、J2）。 ③予習（120分） 研究計画を実行するための準備を行っておく。 ④復習（120分） 研究実行していく中での課題や修正点を整理しておく。
	8	①授業テーマ 研究結果の整理及びプレゼンテーション準備① ②授業概要 研究計画に沿って行われた研究結果（データ）を精査しつつ、資料の作成や発表に向けた準備を行う（F1、J2）。 ③予習（120分） 授業で得られた情報を踏まえて、作成した資料について加筆修正する。 ④復習（120分） 授業での議論を踏まえて、プレゼンテーションに必要な情報を再度整理する。
	9	①授業テーマ 研究結果の整理及びプレゼンテーション準備② ②授業概要 研究計画に沿って行われた研究結果（データ）を精査しつつ、資料の作成や発表に向けた準備を行う（F1、J2）。 ③予習（120分） 授業で得られた情報を踏まえて、作成した資料について加筆修正する。

	④復習（120分） 授業での議論を踏まえて、プレゼンテーションに必要な情報を再度整理する。
10	①授業テーマ 研究結果（データ）の整理及びプレゼンテーション準備③ ②授業概要 研究計画に沿って行われた研究結果（データ）を精査しつつ、資料の作成や発表に向けた準備を行う（F1、J2）。 ③予習（120分） 授業で得られた情報を踏まえて、作成した資料について加筆修正する。 ④復習（120分） 授業での議論を踏まえて、プレゼンテーションに必要な情報を再度整理する。
11	①授業テーマ 研究結果（データ）の整理及びプレゼンテーション準備④ ②授業概要 研究計画に沿って行われた研究結果（データ）を精査しつつ、資料の作成や発表に向けた準備を行う（F1、J2）。 ③予習（120分） 授業で得られた情報を踏まえて、作成した資料について加筆修正する。 ④復習（120分） 授業での議論を踏まえて、プレゼンテーションに必要な情報を再度整理する。
12	①授業テーマ 研究成果のプレゼンテーション① ②授業概要 得られた研究成果について、プレゼンテーション（発表）を行う（J2、M1）。 ③予習（120分） 前回までの授業を踏まえ、研究計画の発表準備をする。 ④復習（120分） 質疑応答の内容等を踏まえて、加筆修正を行う。
13	①授業テーマ 研究成果のプレゼンテーション② ②授業概要 得られた研究成果について、プレゼンテーション（発表）を行う（J2、M1）。 ③予習（120分） 前回までの授業を踏まえ、研究計画の発表準備をする。 ④復習（120分） 質疑応答の内容等を踏まえて、加筆修正を行う。
14	①授業テーマ 研究成果のプレゼンテーション③ ②授業概要 得られた研究成果について、プレゼンテーション（発表）を行う（J2、M1）。 ③予習（120分） 前回までの授業を踏まえ、研究計画の発表準備をする。 ④復習（120分） 質疑応答の内容等を踏まえて、加筆修正を行う。
15	①授業テーマ ゼミナールⅡのまとめ ②授業概要 ゼミナールⅡの授業内容や自身の成果物を振り返り、卒業研究、卒業論文に向けて必要な情報を整理する（J2、M1）。 ③予習（120分） 授業を通して収集、精読してきた文献情報や研究成果について整理する。 ④復習（120分） 卒業研究、卒業論文の作成に向けた研究計画を立案する。
関連科目	コーチング学研究法演習（SSCS2317）、ゼミナールⅠ（SSCS4605）
教科書	特に指定しません。
参考書・参考URL	■松本茂・河野哲也『大学生のための「読む・書く・プレゼン・ディベート」の方法』（玉川大学出版部） ■立教大学編『Master of Writing（ https://www.rikkyo.ac.jp/about/activities/fd/qo9edr0000005dbr-att/MasterofWriting.pdf ）』 ■立教大学編『Master of Presentation（ https://www.rikkyo.ac.jp/about/activities/fd/qo9edr0000005dbr-att/MoP.pdf ）』
連絡先・オフィスアワー	連絡先 開講時に告知します。 ■オフィスアワー 金曜3限 それ以外の時間については、メールにて事前にアポイントをとればラーニングセンター等で対応します。
研究比率	

